

Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500



●2014-2015年度RIテーマ  
**LIGHT up ROTARY**  
ゲイリーC.K.ホアンRI会長  
●第2510地区重点目標  
RIテーマ「ロータリーに輝きを」  
を推進しよう

55年の歴史の蓄積の上に乗って  
ロータリーにさらなる輝きを

●再来週9月12日金のプログラム

◎ガバナー公式訪問  
羽部 仁ガバナー(札幌幌南RC)

●来週9月5日金のプログラム

◎「青少年奉仕委員会担当例会」  
スピーカー 上林 猛氏(小樽市教育委員会教育長)

●今週8月29日金のプログラム

◎「臨時総会」  
◎「会員増強について」  
会員組織委員会担当例会 スピーカー 岩船 会員

08

通巻 第2664号  
2014年8月29日発行

1960年創立  
昭和35年2月5日

●第7回例会報告 8月22日金 「新入会員卓話」 林会員・太田会員

■ロータリーソング ■ 「奉仕の理想」

■会長報告 ■ 加藤会長

- ・9月19日(金)移動夜間例会に酒田RCから10名参加の予定です詳細につきましては後日お知らせいたします。
- ・10月5日(日)地区大会には約40名の会員の方々に登録していただきました厚く御礼を申し上げます。
- ・本日の例会は、「臨時総会」として前年度クラブ活動報告等と今期のクラブ活動計画等の報告をする予定でしたが諸般の事情で作業が遅延いたしております。来週9月29日開催の例会にて報告をさせていただきます。
- ・9月12日(金)ガバナーの公式訪問がありますので、例会には極力出席して下さい。

■幹事報告 ■ 工藤幹事

- ・余市RC=9/3(水)「早朝例会」  
点鐘AM6:30~場所:余市河口港親公園
- ・余市RC・岩内RC=9/17(水)4クラブ合同例会  
点鐘PM6:00~場所:ホテル水明閣
- ・桂岡少年少女合唱団第38回発表会のご案内をパネルに掲示しておきます。

・3クラブで参加いたしました潮まつりの集合写真ご希望の会員の方はお知らせ下さい。

■委員会・同好会報告 ■

◎ゴルフ同好会 大倉会員

8月23日(土) 小樽カントリー倶楽部旧コース

◇小樽ロータリークラブ3クラブ合同ゴルフ成績◇

団体戦 優賞 小樽南(大倉・松浦・山田(正)・米山)

個人戦 優賞 大倉会員 準優賞 松浦会員

2位 山田(正)会員 6位 米山会員

8位 宮川会員 (小樽南上位入賞者)



好天に恵まれた  
3クラブ合同ゴルフ例会



◎個人戦 優賞 大倉会員

■例会プログラム

新入会員卓話



林 安明 会員

と、言いますのも、私は若い時分にハワイに16年住んでおりました。ハワイは昔も今も日本人の好きな

6月に入会した西別院輪番の林です。出身は鹿児島ですが、高校卒業後は京都の大学に入学して僧侶となって以降、各地を転々としております。今日は自己紹介だけでは退屈されるかと思いますが、ハワイの話をしてい

場所で、皆さんも仕事や観光、ゴルフなどで行かれた経験があると思いますが、私が行ったのは1976(昭和51)年、38年前のことで、今とはずいぶん変わっていたように思いますので、以下、当時の四方山話を紹介いたします(一部省略)。◎今日の円ドルの換算レートは103円ですが、以前は固定相場で1ドルが365円で、変動相場になったのが1973年、私の行った頃は303円でした。ほぼ40年で200円、円高になったことになり

ます。◎1960年代半ば、加山雄三の「君といつまでも」の主題歌で映画「若大将シリーズ」でハワイ熱に火が付きましたが、当時、観光目的のハワイ旅行はまれでした。私が行った頃は少し一般化していましたが、それでも当時は出発は唯一羽田空港からで、トラップを歩

いて飛行機に乗る時には、まだ、乗客と見送りの人々が水盃をかわすような別れの風景がありました。

◎当時の日系社会は一世が存命しており、日本語も十分通じました。その日本語は各地から来た人々のお国訛りに、先住民のハワイ語や片言英語が混じったユニークな言葉でした。明治元年に渡った人達から既に6世7世の子孫が生まれています。今では一世はほぼいなくなり、2世でも高齢化して、3世4世が時代の中心になっています。

他にも面白い話がありますが、この辺にして、ロータリー活動の理念は会員が自分の仕事に専念することをおして社会に奉仕するというので、これは伝教大師最澄の言葉にも「一隅を照らす、これすなわち国宝なり」とあるとおりに、仏教にも通ずると思っております。一人ひとりが自分の殻に閉じこもることなく、周りの人々との交流を深めて共に生きてゆく、まことに結構な理念であると思っておりますが、あまり話しますと、お説教になりますので終わらせていただきます。

恵新自動車学園・事業部長の太田でございます。本年6月に、この歴史と伝統のある当ロータリークラブに入会をさせて頂きました。本日は、自動車学校で運転技術の向上に携わる者の一人として、「飲酒運転の危険性」と「脳の健康管理（脳の活性化）」という2点について

とお話をさせていただきます。

まずは「飲酒運転の危険性」と言うことでありますが、先般、銭函と石狩の管内で立て続けに飲酒運転に伴う人身事故が発生し、銭函では海水浴帰りの女性3人が飲酒した車に「ひき逃げ」され死亡するという大変痛ましい事案も発生しています。言うまでもなく飲酒運転は犯罪であります。特に最近は厳罰化の傾向にありますし、飲酒運転で事故を起こすと保険金が出ない可能性もある上に、場合によっては“億”を超える高額な賠償金を求められ、家庭が崩壊したような話も聞いております。

酒に絡む事故では加害者も被害者以上に苦しむ結果になるということを再度認識し、飲酒運転だけは絶対にやめて頂きたいのであります。

次に「脳の健康管理（脳の活性化）」ということについてお話を致します。昔は人生50年と言われ、大体の人が認知症が発症する前に亡くなっていた。しかし、最近は80歳を超えて長生きするようになり、認知症がクローズアップされるようになってきたのであります。しからば我々には認知症を防ぐための有効な手立てはないのかということですが、そこで認知症の予防に有効とされているのが足の裏を刺激することだそうであります。人の足の裏には第二の脳が存在すると言われておまして、足の裏を刺激することで脳が刺激される。脳が刺激されると脳が活性化され認知症予防につながるということだそうです。75歳を過ぎて車を運転するためには認知症検査を受けなければなりません。75歳を過ぎても自分で車を運転できるよう日頃からウォーキングなどで足の裏側を刺激し、脳の活性化に努めましょう。



太田 宏司 会員

# ロータリー四方山話

⑤

廣瀬会員

「ポリオ撲滅とビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団の関わりについて」

▼ポリオのお話は、当クラブ財団委員長のT会員と、地区のポリオ・プラス委員長とのO会員が詳しくお話をされましたが、お二人の話に無かった、ビル・ゲイツ財団との事について、若干ふれさせて頂きます。国際ロータリーは、1979年9月、5ヶ年計画のポリオ撲滅運動を始めます。▼1985年、ロータリー創始80周年に当たり「ポリオ・プラス」計画を発表。1986年7月、1991年6月まで、募金40億円の目標に対して49億円集める。1988年、世界保健機関（WHO）、ユニセフ（UNICEF）とともに世界ポリオ撲滅推進計画を発足する。▼さて、本題に入ります。2007年11月26日、国際ロータリーは、ビル・ゲイツ財団と協同して、世界ポリオ撲滅に必要とされる2億米ドルを投入することを発表しました。ゲイツ財団から1億ドルの補助金を受領したロータリー財団は、この時点から3年間にこれと同額の募金活動を行っていくことになりました。▼2009年1月、ゲイツ財団は、国際ロータリーに対して、さらに2億5、500万ドルを寄付。国際ロータリーではこれを受けて、2012年までにさらに1億ドル、2007年11月にスタートしたものと合わせて2億ドルの資金を集めることを表明しました。全世界のロータリアンは、「ロータリー2億ドルのチャレンジ」と称し、ポリオ撲滅のための資金集めをした結果、その6月を待たずに目標額達成しました。ビル・ゲイツ財団は、この功績に対し、さらに5、000万ドルを国際ロータリーに寄付しました。

## 出席委員会

### 平成26年8月22日

会員総数 73名 本日の欠席者 13名  
石上、小笠原、角野、佐藤(公)、佐藤(友)、坪井野村、柴田、永原、鈴木、湊、前川、山田(正)

## 平成26年7月25日

会員総数	71名	出席摘要免除者	16名
病欠者数	0名	出席計算員数	名
ホーム欠席者数	7名	メーキャップ	1名
純欠席者数	6名	確定出席率	91.04%